

提出日：2023/12/29

名前：舟見玲奈

テーマ：ディレクターとのコミュニケーション

●プチワーク

1.制作会社はクライアントに何を求められているか。

納期をしっかりと守った上での、高品質の制作物（web サイト等）。

2.クリエイターは制作会社（もしくはディレクター）に何を求められているか。

・制作物を制作する際に、使用する技術力（デザインの知識やコーディングの知識等）。

・円滑に仕事出来るようなコミュニケーションやチームワーク力

●ワーク

①コーダーは何をやり取りするか：

デザイナーとは、デザインの意図（なぜこのデザインにしたのか）の確認、場合によってはデザインカンパから曖昧な点（分からない点）を質問したり等のやり取りをする。

ディレクターとは、納期やクライアントの要望や指示等（何を修正したり、制作するのか等）の情報をやり取りする。

②デザインデータを受け取った、初めのタイミングで何を確認するか。

まずは、デザインデータを確認し、不明点があった場合は、指示内容を含め、不明点をなるべく、解消する。また、作業をいつまでに完了しなければならないかを確認する。

●勉強会で印象に残った点と理由

印象に残った点①：

クリエイターが求められている役割を理解し、最適なコミュニケーションができるようになることでクライアントや制作会社に求められている人材になる。

ディレクターが負う責任と権利；アクションを決める

デザイナーが負う責任と権利；アクションできたか

印象に残った理由：

クリエイターになる上で、技術力の他に必要なものが明確に分かったため。

印象に残った点②：

指示を受けた際には、指示内容（いつ、何をするのか）等に関して、口頭チェックとドキュメントを残すのは必須。

また、その際、曖昧な表現は厳禁。自分も相手も分かる言葉を使用すること。

印象に残った理由：

自分自身、社会人1年目の初めに、先輩から指示を受けた際、不明点を抱えた状態で質問もせず、間違えた認識で仕事を進め、結局、初めから仕事をやり直すという苦い経験もしたことがあります、やはり仕事をする上で、認識のずれはあってはならないと実感したため。

●感想

まずは、自分の仕事内容や役割は何かを明確にする、そして、コミュニケーション力はすぐには身に付くものではないですが、最適なコミュニケーションを取ろうという意識をまずはしていきたいです。また、コミュニケーションを取るうえで、共通認識を持ち、食い違いないためにも指示されたことはもちろん、指示されていない部分でも不明な点があれば質問をしていきたいです。また、現状では、先の話にはなりますが、経験を重ね、それぞれの人の要望や特徴等に合わせて、仕事の進め方などのスタイルを変更できる人になりたいと思いました。